（毎週月曜日休刊）　（本號六頁）

時事新報

第千二百四十八號　火曜日

明治十九年四月十三日　（癸卯）

雜丙戌三月十日

（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價

一枚金五錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便稅一箇月金廿六錢〇一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲クル各地ニ於テハ該地賣捌所ヨリ發送無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）

東京、横濱、横須賀、從飯田至小田原、藤沢、戸塚、鶴ヶ岡、鎌倉、高輪、下總、長崎、神戸、尼ノ邊、岡山、笠岡、岡山、加茂、和歌山、鈴鹿、高知、下關、二本松、名古屋、岐阜、岡崎、豊橋、四日市、津、松坂、山田、浦賀、福島、二本松、石ノ巻、白石、函館、宇都宮、高崎、館沼、八王子、千住、草加、越谷、神戸、杉戸、幸手、久喜、鶴宿、千葉、寒戸、寒川、佐倉、東金、市川、八幡、船橋

其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同レタル料金ヲ付ス

時事新報廣告料（前金）一行ニ付

	一日限	二日以上	七日以上	十六日以上
		六日迄	十五日迄	
一行廿四字詰	一十錢	八錢	六錢	五錢
自一行至三行	一十錢	七錢	六錢	五錢
自四行至十行	九錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘
自十一行以上	八錢	五錢	五錢九厘五毛	五錢五厘

時事新報

日本國の鉄道事業　二十一

乗客の種類と乗車の目的とは千變萬化なり

文明世界の人事交通ハ極めて繁雑なるものゆり鉄道の便を利して往來するの人は多種多様、老あり少あり官吏商人商生職工その他社會の生活する人間は殆ど皆ちゆるもの皆ち鉄道に乗らざるなき然してこれを乗るの目的は海山見物の爲めもあり商賣取引の爲もあり畢生は學校通學に官吏と官廳出勤にその外、人に依り時に因りて樣々の目的より鉄道を利用すること文明社會の人の常道なれば鉄道會社たるものは官立たり私設たるに論なく唯務めて乗客の便と利益を図へ、農民のためには農民の利益を図へ乗客の種類と乗車の目的とを見届らひて巧みあれを投應し千人千樣の待遇を決して滞一れ法と以てその人を概そべつらざるあり然るに日本鉄道の乗車切手發行法と見るに尚は注意の不足とする所甚だ多し東京横濱間の官設鉄道に就てこれを云はんに切手の種類は第一上中下三等に通常片道切手、第二上中の二等と限り一日丈の往復切手第三同じく上中二等と限り一箇月三箇月六箇月及び十二箇月の四種の定期乗車券第四川崎大師の縁日等を限りて臨時に施行するの一日限り通用の下等往復切手以上數種の外に有ることなし甚だ不十分あるものといはざるを得ざるあり蓋し此不十分不完全は日本國中に鉄道事業の尚は振はざる結果なれば他に致し方もなけれども追て此日本が鉄道となる頃にはこれと同時に乗車切手の種類方法とも樣々に改良して各種旅客の便に應ずるの道を設くること必要たるあり現在西洋諸邦れ中に在りても乗車切手の法の整頓したるは米國あると論を待たず今その二三例を掲げんに米國鉄道切手は種類は既に日本に行はれ居る各種のそれ外に或い乗數切手あると計り五回十回若くは五十回と夫々回數を定めて乗客は便宜に應じ或い里數切手なるものありて一定の期限を定めて又乗用の度數と限らず但五百里なり一千里なりの豫定里數を仮算してこれが切手を渡し其乗車里數の盡るを待てその用を終へ或は遊覧切手として旅客の爲めに各抽没遊れ便利と與へ或は車掌切手として無切手乗車の人のため車中にて切手を賣りその外途上滞在を望む者あればこれに滞在切手と與へ學校通學の生徒なれば毫に學生切手を渡し、移住民切手は貧民職工の爲めに出稼の便路と供し、組合線路切手は各地各社一々切手を買ふれ面倒と省きその他旅客の種類乗車の目的ふ應ずて種々多樣の切手を發行するとなるが就中手荷物切手は米國特有の便法ふして鉄道世界に有名れものあれば爰ま聊う其要を述ぶべし蓋し英國風ふ摸しさる日本現行の鉄道に於ても責めて手荷物切手の一法丈と之を米國風ふ摸するの利益極て多けれなり昨年八月發兌の米國雑誌ハーパース マガゼーンに左の一節あり

米國人が初て英國を旅行して第一に不便と感ずるものは手荷物切手法の行はるざる一事なり若しこれが米國なれば旅客先づ市中各所にある切手賣渡所のろれ一つふ到り何れ列車ふて何處に赴くとの次第を告ぐれば其列車は何時ふ出發せるものなれば手荷物は何時までに該停車場の掛員に渡されて然るべしとまで丁寧なる助言を受け聽てその時刻に至れば手荷物管理の人ハ賈鍮の小札比翼製のもの一枚を旅客に與ふ旅客はこれ一枚を受々取り其儀客車に乗り込と漸く到ふ地の停車場ふ到らんとする頃ふもなれば掛の役員車中を通りながら旅客に手荷物受取りの注意を與へ若ま又旅客の注文とあれば就れの旅館なるかろの宿所を聞糺して一應旅客より切手を收め更に符票番號を記したる受取證と旅客に渡ま手荷物の屆方と引受け與ゝなり因て旅客ハ單身車を下り旅館と指してゐれに投じ待つと一時間も立てば一切の手荷物難あく ま て旅館に達す又旅客れ便宜にて已ものと與に手荷物と携帯して去らんと望む場合には切手を旅館より停車場へ出張の手代ふ示して其の受取方と扱はしむべし左すれば旅客は荷物ハ直に旅館ふ到來するあり然るふ英國には絶て斯る便法無く又ふれに類似れ方法さへならず畢竟此手荷物切手法は米人に取りては實ふ旅行中の最大快樂の一さるものあれども一たび米國の地と離るれば不幸ふもその快樂を奪ゝるゝ免れず（中略）倫敦の停車場ふ於ては旅客の手荷物は列車の停止と同時ふふれを廣場に投放せ故に上下顛倒、大乱雑ふ堆積するその所と各旅客ハ互に先を爭ひ羽脇ちに我手荷物と撰り出さんと欲して押合ひ揉合ひ非常の混雑を極むるハ好しとまても中に狡猾者なりてうの混雑の紛に乗と他人の手荷物を拐帯し去るも決して之と防ぐれ途ふゝざるなり公衆の便宜と保護とには奏て怒鳴ある米國人のことも為ふ英國旅行の法の尚は未開草昧なるを馬嘶せざるはなしなり云々

鉄道は旅客の爲め快樂便利一以上略記する如く米國の鉄道は手ふして旅客の爲め快樂便利と與へ或は車掌切手とて無切手乗車の人のため車中にて切手を賣りその外途上滞在を望む者あればこれに滞在切手と與へ學校通學の生徒なれば毫に學生切手を渡し、移住民切手は貧民職工の爲めに出稼の便路と供し、組合線路切手は各地各社一々切手を買ふれ面倒と省きその他旅客の種類乗車の目的ふ應ずて種々多樣の切手を發行するとなるが就中手荷物切手は米國特有の便法ふして鉄道世界に有名れものあれば爰ま聊う其要を述ぶべし蓋し英國風ふ摸しさる日本現行の鉄道に於ても責めて手荷物切手の一法丈と之を米國風ふ摸するの利益極て多けれなり昨年八月發兌の米國雑誌ハーパース マガゼーン

けても切手發行れ法亦ふれふ摸ま て最も精選と致さゞる可らざるあり　（未完）

官報

○警視廳東京府甲第九號布達街路取締規則第二十四條中但人道ニ於テノ下ヘ（濯水車ヲ使用シ）ノ七字ヲ挿入ス

○參照

○警視廳東京府甲第九號布達參照

明治十五年十月甲第八號布達

第二十四號　人道車馬道ノ區別アル場所ニ在ツテ諸車牛馬ヲ人道ニ率入レ又ハ猥リニ車馬道ヲ通行スヘカラス但人道ニ於テ小兒車ヲ押シ及ヒ所有者諸車牛馬ヲ出入スルハ此限リニアラス

○敍任

○明治十九年四月七日

任海軍少佐　海軍大尉正七位　諸頃之

〃　〃　〃　